

2021年 7月号

No.39



IoT×予知保全

冷設と回転機器の状態を見える化します。

設備の見える化で異常早期発見！

冷設に関しては大きな省エネ効果もえられます！

CASE.1

冷設の見える化と圧縮機制御

冷蔵・冷凍庫は大切な製品、原料を保管しています。万が一、設備の故障で庫内温度が上昇してしまったら損害はかなり大きなものになると予測されます。庫内温度を見える化し、異常を早期発見、加えて庫内環境を維持できる範囲で圧縮機を間欠運転させることで約15%程の省エネが可能です。

CASE.2

回転機器の簡易モニタリングシステム

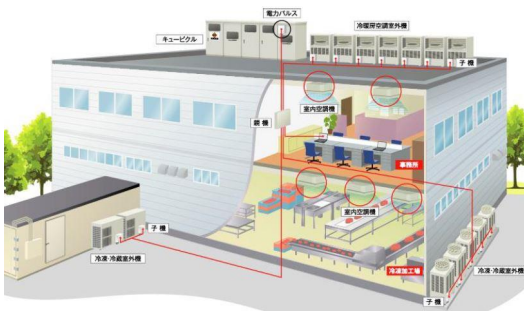
ポンプ、ファンといった回転機器をモニタリングします。回転機器の「振動」と「温度」をセンサにてキャッチします。10,000Hzまで分析できるので3か月後、半年後に故障する前兆を見逃しません。必要なのは「センサ」と「iPhone/iPad」のみ。Bluetooth通信でセンサ情報をデバイスで吸い上げ、クラウド管理する事で事務所からの遠隔管理も可能です。

IoTというと難しいイメージがありますが「簡単」かつ「安く」を前提に導入しやすい設定になっています。

詳しくは裏面をご確認下さい！

冷蔵冷凍庫の見える化と省エネクラウド管理システム

庫内温度の見える化と圧縮機間欠運転による省エネルギー化



❖温度管理体制の強化・・・商品安全性の補完、廃棄ロスの減少、廃棄コスト削減

どこでもリアルタイムに24時間庫内温度確認可能。

❖冷凍機、温度異常を即時にお知らせ・・・素早いリスクヘッジ、メンテナンス業者へ即時連絡

異常時にお知らせメールを送信。素早い対応によりメンテナンス費用の軽減。

❖省エネによる利益拡大

庫内温度を監視しつつ、設定以上の温度低下時は圧縮機を停止します。もちろん、メーカーの圧縮機停止と同じ手順となるため安全な制御です。圧縮機の間欠運転により約15%の省エネ化が可能です。(シュミレーション可) 庫内環境維持が大前提となります。

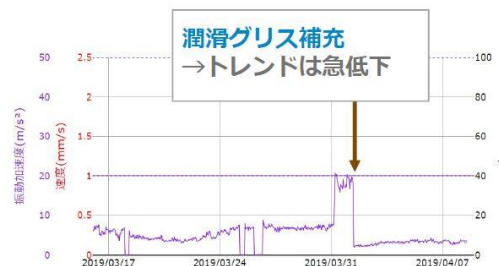
一つのシステムで「機器・温度監視」、「デマンド監視」、「見える化」を完結します。

回転機器の簡易モニタリングシステム

「簡単」、「低コスト」配線工事なし。必要なのはセンサとiPhone/iPadのみ



- ①センサを回転機器に設置
- ②デバイスでBluetooth通信。温度、振動データをキャッチ
- ③クラウドでデータ保管
- ④事務所でデータ確認
- ⑤異常早期確認でメンテナンス費の低減、保全コスト削減、生産効率の向上が可能になります。



上記は振動加速度の上昇を確認しグリスアップをしたデータです。人の目では確認できない範囲を一瞬で見える化。もちろん異常時のお知らせメール機能ますので安心です。

上記に関しまして詳細をご希望の方は是非、お問い合わせ下さい。自社の設備に適してるのか? コスト感はどう? 他、ご質問頂きましたらご回答申し上げます。

お客様お問い合わせ記入欄

内容に関してもっと詳しく知りたいという企業ご担当者様、下記項目該当欄にチェックして頂き、FAX、お電話にてご連絡ください。QRコードからHPお問い合わせでもお待ちしております。

☐ 冷蔵の見える化、省エネ化について詳しく知りたい!

☐ 回転機器モニタリングシステムについて詳しく知りたい!

TEL 0532-61-0077 FAX 0532-61-4634



御社の情報をご記入ください。

御社名: _____

ご担当者名: _____

ご住所: _____

電話番号: _____

メール: _____